



ホームページ▶

ふるさと上越 🔍

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625



2025.11.5 (雁木とスーパームーン) 撮影：小坂靖至さん

「たより」No.310 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告	1
Ｊネットの活動とお知らせ	2
上越の旬の話題	3
◇ 上越市に新市長誕生	
◇ 川上善兵衛ものがたりを「朝ドラに」	
同窓会・郷友会コーナー	3
会員ひろば	4
◇ 創立120周年(令和6年度)を迎えた 上越高等学校	古川泰男
俳句ひろば	6
会員ひろば	6
◇ 上越でのクラフトビール醸造 ローカルからグローバルへの挑戦	宮川 岳
ＪネットHPのご案内	7
上越タイムス・上越ケーブルビジョン (アクセス方法のご案内)	7
上越産品販売のお知らせ	7
第60回Ｊネット勉強会 スナップ 杉並区荻窪の三庭園の見学	8
上越の秋 スナップ	8
上越市からのお知らせ	8
Ｊネットからのお知らせとお願い	8

「たより」No.310 別紙版

- ◇ 上越市ふるさと納税のご紹介
ふるさと応援室

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は513名(令和7年11月20日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和7年10月 165点 520,794円 ※前年同月 109点 480,573円

◆ 10月9日(木)湯島にてサロン開催

10月9日のサロンは、当日の勉強会「東京ジャーミイ(モスク)」から続けてサロンに参加頂いた方もいた反面、午後からの豪雨で欠席された方も数名。

参加者は27名、初めての参加は松倉三千夫さんと沢田哲生さん、また丸山益生さんが久々に参加された。今回も賑やかな懇親会であった。

差し入れは、新山さんから茄子の漬物、石田哲朗さんから越後美人、平塚恵美子さんから三千盛/岐阜、南/高知、松倉さんからモーゼルワイン、高橋稔さんから吉乃川/長岡、小坂から赤ワイン、ご馳走さまでした。



(小坂庸雄 記)

◆ 11月13日(木)湯島にてサロン開催

13日のサロンは大盛況!

始まって以来の39名という大勢の参加者で賑わいました。初めて参加された福田光博さん、伊藤志伸さん、お二人とも即その場で入会されて嬉しいかぎりでした。久しぶりに前副会長の佐藤啓子さんをはじめ北城組のお姉さまがた、また、今回も、会員最年少の田部達也さんが運営委員会にもオブザーバーとして参加されました。上越の銘酒をじっくり頂きながら会話ははずみ、和気あいあいの楽しい懇親会でした。



差し入れ御礼。内田さんから越後桜、岡村さんから久保田と鶴齢。宮腰さんから亀の井ばくれん(山形)。会長から赤ワイン。佐藤さん、野田さん、浜野さん、長谷川さんから漬物とさきいか。祖父江からハムソーセージ。ありがとうございました。

(祖父江ひろみ 記)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 17:30～19:00 (予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ R7.12月11日(木) ◆ R8.1月8日(木)(新年会) 17:00～19:00 参加費1,500円

1月は、30分繰り上げ、新年会を兼ねて大ホールで開催します。

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

◆ 第60回Jネット勉強会報告 杉並区荻窪の三庭園の見学

11月8日(土)晩秋の午後、小坂会長以下20名が参加しました。大田黒公園は音楽評論の先駆者大田黒元雄の屋敷跡で、正門から樹齢百年を越す大イチョウ並木、中庭には回遊式日本庭園もあり、洋館にあるスタインウェイのピアノや展示物からは芸術の香りが感じました。角川庭園は角川書店の創業者で俳人でもある角川源義の邸宅で、自身の俳句や文芸人の所蔵物には文化的な趣がありました。近衛文麿の旧宅荻外荘は今回のメインの見学先で、来訪者で賑わっていました。「荻窪会談」と言われる日独伊三国同盟に進む会談が開かれた客間、文麿公が昭和20年12月に自死した書斎などが見られ、荻外荘は歴史的な資産です。荻窪三庭園を見学して、昭和の偉人たちが残した遺産は素晴らしいと感じ、そして参加者の皆さまからもご好評をいただきました。なお、内田道行会員があまり知られていない逸話等の紹介をしてくださいました。

(溝口良二 記)

※P8に当日のスナップを掲載しています。

◆ 上越市に新市長誕生

この度、市民の皆様から信任をいただき市長に就任いたしました、小菅淳一でございます。よろしくお願いいたします。

多様な市民の皆様の声に虚心坦懐(きょしんたんかい)に耳を傾け、真摯に向き合いながら、市政運営に全力で取り組んでまいりたいと思います。

今後の市政運営にあたっての抱負を申し上げます。

私にとって大切なふるさと上越、それを皆様と一緒に、喜びや希望に満ちた、明日の上越を作って次の世代へつないでいきたい、それが私の思いであります。

そのためにまず、市民の皆様、そして市議会の皆様との信頼関係を作り、その信頼の下に、誠実な市政運営を進めることが不可欠だと考えております。

今後も、丁寧な対話を通じて、私の思いをしっかりと市民の皆様にお伝えするとともに、市民の皆様の願い、悩み、願望、それにしっかりと耳を傾け、共通する価値観を見出しながら、最適の解を探していきたいと思っております。

令和7年11月10日 上越市長 小菅 淳一(上越市HP市長ごあいさつより抜粋)



◆ 川上善兵衛ものがたりを「朝ドラに」署名活動始まる

岩の原葡萄園(上越市北方)の創業者で「日本のワインぶどうの父」と呼ばれる川上善兵衛(1968～1944年)の半生をNHK連続テレビ小説(朝ドラ)の題材にしてもらいたいと、上越市の有志が動き出しました。Jネットでも署名活動に多くの方が協力しました。Jネットの協力に対して、株式会社岩の原葡萄園内「日本のワインぶどうの父」川上善兵衛をNHK朝ドラに推す会準備事務局と著者の渡辺真守氏からお礼状が届きました。

集まった署名は、今後NHKに提出されます。

「葡萄色の夢を追いかけて～川上善兵衛ものがたり～」

著者：渡辺真守 定価：1,100円(税込)発行：新潟日報社

岩の原ワインオンラインストアでも購入できます。

<https://www.iwanohara.shop/>



同窓会・郷友会コーナー

◆ 東京牧村会 第29回総会・懇親会を開催

東京牧村会は10月26日(日)上野精養軒で令和7年総会・懇親会を開催しました。

会員始め故郷から上越市長代理で牧区総合事務所所長、牧区、県人会要職者、ふるさと上越ネットワークから祖父江副会長のご臨席を頂き、総勢70名が出席しました。

今総会で鈴木勉会長が退任し、羽深真一が会長に選出され新体制がスタートしました。

懇親会ではカラオケを準備し、懐かしの演歌や合唱などで皆さん大いに楽しまれ故郷牧区物産販売は今年も好評で、休憩時間を挟み皆さん買い込んでいました。

東京新潟県人会佐藤副会長のご発声で万歳三唱し、来年の再会を誓い閉会となりました。

(前会長 鈴木 勉 記)



ふるさと牧区、東京新潟県人会要職の皆さん
鈴木前会長(後列右より2番目)



友誼郷人会要職者の皆さん 祖父江副会長(後列
左より4番目)、県人会清水事務局長(後列5番目)

◆ 第35回東京板倉会 ふるさとじよんのび会 総会・懇親会

11月9日(日)に「東京板倉会ふるさとじよんのび会総会・懇親会が、東京新潟県人会館で開催されました。

来賓としてJネット小坂庸雄会長をお迎えして、総勢20名と少人数ながらも和やかに執り行う事が出来ました。

ゲストとしてユーフォニアム奏者の土田正栄様による心なごます素晴らしい演奏と並びに東京おけさ会様による優美な踊りの披露。民謡流しのときは参加者数名が踊りの輪の中に入りとても満悦の様子でした。

終始和気あいあいと和やかな雰囲気で行進し大盛況でした。

ご参加・ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

末筆ながら ネット小坂会長の「ふるさと上越ネットワーク」についてのご説明に賛同し、3名がJネットに入会しました。

(東京板倉会 会長 小林重夫)



◆ 直江津高校・ 直江津中等教育学校同窓会 関東支部総会・懇親会

11月15日(土) アルカディア市ヶ谷にて開催されました。

Jネットからは小坂会長のご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。

(支部長 高原隆)



会員ひろば

◆ 創立120周年(令和6年度)を迎えた上越高等学校

古川泰男(古川学園 上越高等学校 顧問・前理事長)

令和6年度に上越高校(前身は高田家政高校から高田女子高校)は創立120周年を迎え、記念事業として同年4月に第二体育館と生徒寮「継心館」が竣工し、10月5日に記念式典／祝賀会を開催した。120年間に約26,000名の卒業生が輩出し、様々な艱難曲折があったが、今あることは地域社会をはじめ多くの皆様のご支援の賜物と心から感謝している。本稿では創立110から120周年に至るここ10年の上越高校の歩みを簡潔に振り返る。

特色・魅力づくり

当校は女子高から男女共学高として、1学年普通科4学級、食物科2学級の高校として経営してきた。しかし少子化が進行する中で、特色や魅力の不足、公立高校との学費差等のため、定員確保に困難をきたしていた。ここ20年ほど、「進学、資格、品格で地域の期待に応える上越高校」の学校ビジョンを掲げ、特色・魅力づくりを進めてきた。

生活の重要な営みとなる食物に関わる教育の意義は大きいと考え、長年の家庭科教育の伝統を踏まえ、調理師資格取得のできる食物科を運営してきた。しかし、この分野の教育は大学・専門学校に移行する



創立120周年式典

傾向があり、生徒と指導者の確保、施設・設備の充実に困難をきたすようになった。創立110周年の校舎改築を機に食物科を閉科し、必要な施設・設備の設置を断念した。1学年普通科5学級(学級定員40名)のみとする、痛みを伴う苦渋の決断だった。

特色づくりの柱としたのは「国際理解教育、英語教育」である。平成26年度に「ICTを活用した国際コミュニケーション能力の向上」が新潟県の魅力ある私立高校づくり支援事業に採択された。この背景には海外交流団体の支援による留学生交換の実績、地域における国際交流の機会の増加、発展著しいICTの活用による教育経験などがある。

「ふるさを見つめ、世界と交流する」のモットーを掲げ、グローバル特進コースの設置、国際理解プレゼンテーション大会、英語チャレンジセミナー、オンライン海外高校交流、海外留学の推進、英検受験の推進、英語クラブなどの取り組みを進めた。新潟県国際理解教育コンテスト優勝3回、高校生では難しいとされる英検準一級、一級合格、海外大学への進学など顕著な成果が生まれた。



イングリッシュチャレンジセミナー

国際理解教育は地域理解教育を伴い、生徒たちは地域課題へ関心を向け、「上越妙高駅ゆかたまつり」開催へとつながり、平成30年から今年で6回の開催を数えた。この経験を含む「町づくりへの第一歩」と題する弁論が平成30年の全国高校総合文化祭弁論部門の最優秀賞に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞した。

自主活動・部活動の活性化

長い女子高としての伝統から、運動・文化の両面において活発な部活動が行われてきた。バスケットボール、ソフトボール、卓球、スキー、華道、お琴、書道、美術等々である。しかし、女子高から共学高への変化、生徒数の減少、指導教員の出入り等の事情の中で、全体として発展性が乏しかった。生徒の自主活動・部活動の状況を見直し、それらの活性化を学校全体として推進した。ここ10年でそのような努力が顕在化し、70%近い生徒が自主活動・部活動に参加する状況となった。

伝統的な野球部、柔道部、卓球部、音楽部(吹奏楽)、美術部等に加え、特にサッカー部、ダンス部、剣道部、バレーボール部、書道部、写真部などが活発な活動を展開するようになった。サッカー部は後発ではあるが、熱心な指導と充実した環境により、部員数が100名を超え、県外からも毎年30名ほどの生徒が入学し、U-16の全国大会優勝を遂げた。

ダンス部もまた創意ある指導により、部員数が40名を超え、全国レベルの大会出場やコンテスト優勝などを重ね、地域への慰問演技活動も活発である。この3月にはテレビ局主催のダンス動画コンテストで全国の参加131高校中の1位に輝き、創立120周年に華を添えてくれた。上越の豊かな自然・文化溢れるスポットを背景に部員たちが躍動する姿が全国に放映され、多くの皆さんから応援と喜びの声を頂いた。改めて感謝する。

「ふるさを見つめ、世界と交流する」を志として、未来に向かう

当校の特徴の一つが多様な生徒が集うことである。出身中学は県外を含め多様、学力や関心の幅は広く、進路も大学進学、専門学校進学、就職と多様である。この多様性の中から刺激や切磋琢磨が生まれ、若いエネルギーが発揮され、挑戦や成果が生まれている。

国際理解教育のモットーは、「ふるさと」を個性の基盤となる人々の性格や才能、「世界」を普遍性の基盤となる学問や知識と考えれば、個性の伸長と普遍性の修得とを不即不離のものとして教育する志しである。

急激な少子化が進み、地域の消滅などの危機が叫ばれる中、私立高校として地域を支える人材と普遍性を探求する人材の育成とを両輪とした特色と魅力に溢れる教育をめざしていきたい。



銀世界の中でダンス部の演舞

俳句ひろば

鼻歌は洗濯日和いわし雲

風呂敷へ梨ゴロゴロと行進中

身に沁むや錆びの出てきた顔鏡

リンリン鈴虫止まぬ帰郷かな

ショートゴロ試合終了昼の月

乏硯

会員ひろば

◆上越でのクラフトビール醸造 ローカルからグローバルへの挑戦

宮川 岳（オタマブルーイング）

直江津出身、1996年に高田高校を卒業した宮川岳（高48回）です。卒業後は青山学院大学経営学部に進学し、東京の外資系IT企業でコンサルタントとして働いていました。大きな転機になったのはコロナ禍。働き方が100%リモートになり、東京にいなくても仕事ができるようになったこと、さらに妻の闘病と死別を経験したことが、自分の人生を見直すきっかけとなりました。



その中で「クラフトビールの醸造家になる」という目標を掲げ、2022年に三和区の有限会社大宮商店の事業承継の話が持ち上がったことを機にUターンを決意。休業状態の旧店舗を片付け、県内外で修行を積み、海外から醸造設備を導入。クラフトビール醸造所「オタマブルーイング」を立ち上げ、2023年夏に初めてのビールを仕込みました。準備段階から大宮商店の創業家のJネット会員宮澤信三郎さんはじめ縁のある皆様、地域のみなさまに温かく応援していただき、大きな励みとなりました。

特徴的な取り組みの一つが地域の食文化との融合です。「ウメノハナヘイジー IPA」は、三和区の銘酒「雪中梅」で知られる（株）丸山酒造場の酒粕を副原料に使ったビール。酒粕由来のまろやかな旨みが重なり、香りと旨みのバランスが良い飲みやすい一杯に仕上がっています。このビールは上越出身者にとってふるさとも感じられるビールなのではと自負しております。

挑戦から二年後の2025年には、国内のビール審査会「Japan Great Beer Awards」で銀賞を受賞することができ、少しずつ成果も形になってきています。今年の夏には直江津駅から徒歩8分の場所に直営ビアバー「オタマブルーイング ナオエツ タップルーム」（上越市中央2-1-1）をオープンし、地元の方や観光で訪れる方々に楽しんでいただける場となっています。

クラフトビールは世界中に熱心なファンがいる飲み物です。上越という地域からでも、世界に通じるビールをつくることはきっとできる。そんな思いを胸に、日々挑戦を続けています。私の目標は「上越発の世界基準のビールづくり」です。

同じ上越の出身あるいは所縁の方々に、ぜひ一度タップルームに足を運んでいただきたいと思います。懐かしい上越の海風を感じながら、グラスを片手に語らえる日を楽しみにしています。「オタマブルーイング ナオエツ タップルーム」にぜひ気軽にお立ち寄りください。皆さんと乾杯できる日を心待ちにしています。



Otama Brewing Naoetsu Taproom

オタマブルーイング直江津タップルーム

■住所：上越市中央2-1-1 ■電話：TEL025-530-7023

■営業時間：水・木曜 17:00～22:00（11:30 LO）
金～日曜 15:00～22:00（21:30 LO）

■定休日：月・火曜 ■インスタグラム：@otamabrewing_taproom

◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。お知らせページでは各地の話題やイベント情報、会員ひろばでは、たくさんの話題、また会員のみなさんから

の寄稿文やホットな情報もご覧いただけます。

ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードからご覧いただくことができます。



上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」※年末受注締切日12/22/年明受注開始日1/7

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A4版1枚）を同封にてお届けします。

● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。 「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

● 「雪国商店」東京交通会館店 お問合せ先 JCV 東京情報センター TEL：03-5218-7730

<https://yukiguni.shop/>（有楽町駅から約3分）

場 所：有楽町交通会館1階 営業時間：11:00～19:00

休業日：年末年始

● 「雪国商店」CoCoLo新潟店 休業日1/1 ※その他休館日

新潟県新潟市中央区花園一丁目1番1号

CoCoLo新潟2階 EAST SIDE 営業時間：10:00～20:30

角打ち：11:00～20:00（Lo19:30）

● 「雪国商店」KITTE大阪店 休業日 1/1

大阪府大阪市北区梅田三丁目2番2号 KITTE大阪2階

営業時間：11:00～20:00 角打ち：11:00～19:00（Lo19:00）

ソフトクリーム 11:00～20:00（Lo20:00）※機器洗浄日のみLo19:00

● 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」【生産者のみなさまのお声を直接お聞きしてお買物ができます】

日 時：11月29日（土）・30日（日） 12月20日（土）・21日（日）

会場・時間：11:30～17:30 交通会館1Fピロティ

JネットのHPにて毎月の販売予定商品情報をトップページに掲載しています。





太田黒公園

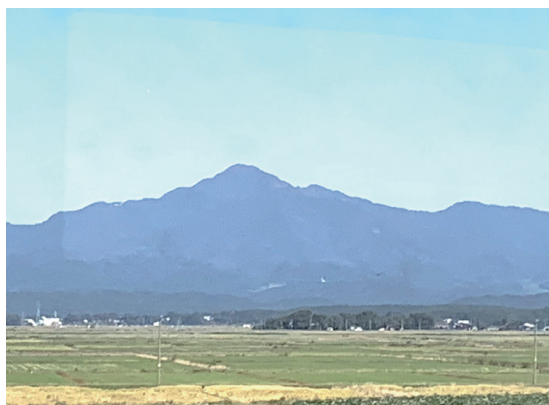


荻外荘公園にて

上越秋の景色



黒姫野尻湖パーキングエリアから望む妙高山 撮影：中村 清さん



米山/ほくほく線車窓 撮影：小松良子さん



上越市からのお知らせ

◇上越市ふるさと納税のご紹介

ご親戚やご友人で集まる場にぜひ上越市の特産品はいかがでしょう？この季節にちょうどいい返礼品を別紙にてご紹介いたします。

ふるさと納税特設サイト

<https://furusato-joetsu.jp/>

当市へのふるさと納税を通じて、上越を思い出しながら、応援いただくと嬉しいです。

●Ｊネットからのお知らせとお願い●

2026年版のカレンダーを12/25号に同封いたします。お楽しみに！

（追加送付ご希望の方へ、一部500円(送料込み)でお届けいたします。事務局までご連絡ください。）

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。投句もお待ちしています。

さらに、たよりについて、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。

（頂いた感想は、たよりに掲載いたします。）

Mail 送信先事務局：k.miyazato@araipt.co.jp

◎次号「たより」は令和7年12月25日の発行です。